

広野町放射線量マップ

— 除染による安心安全な生活圏の確保に向けて —

放射線量マップについて

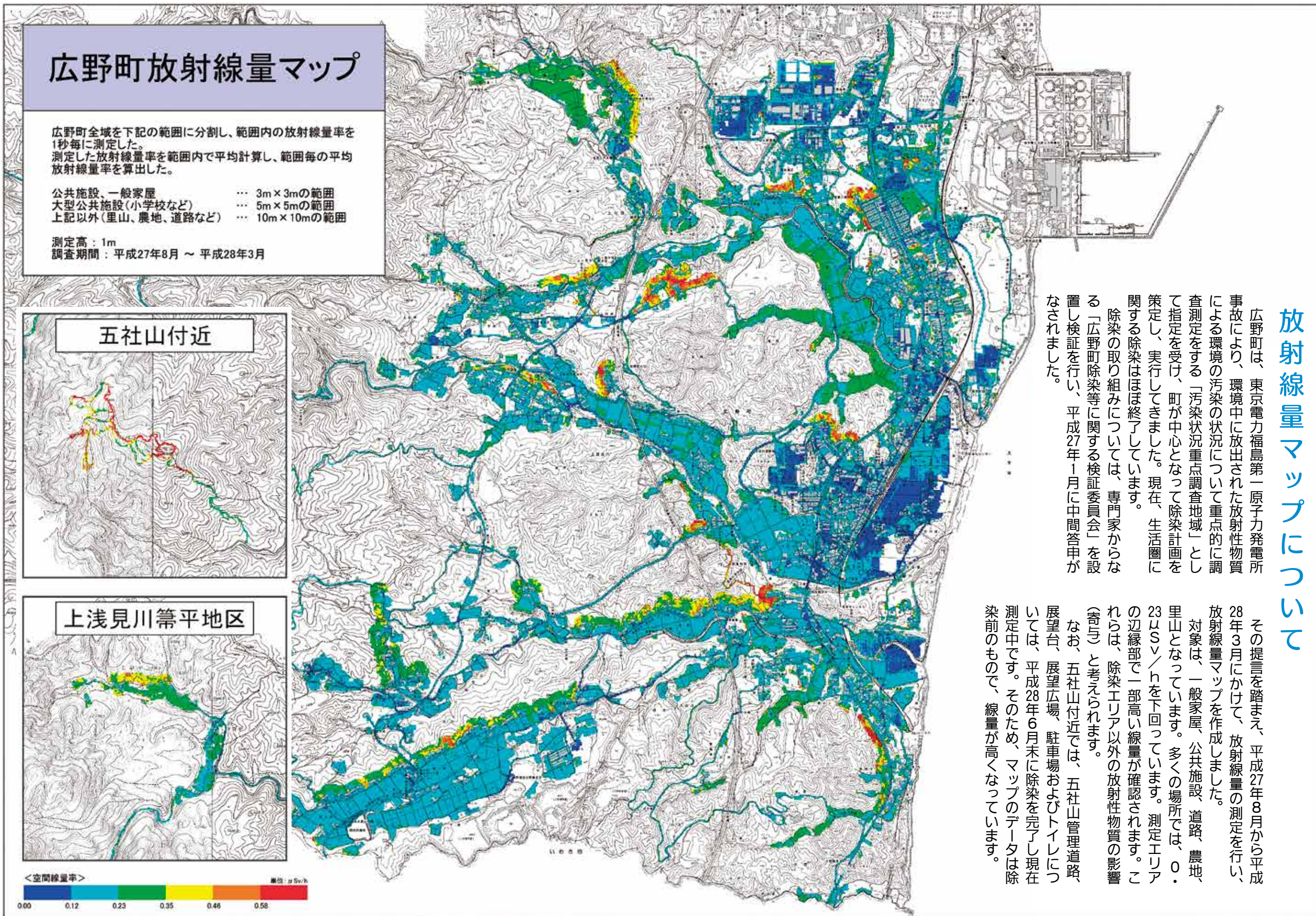
広野町は、東京電力福島第一原子力発電所事故により、環境中に放出された放射性物質による環境の汚染の状況について重点的に調査測定をする「汚染状況重点調査地域」として指定を受け、町が中心となって除染計画を策定し、実行してきました。現在、生活圏に関する除染はほぼ終了しています。

除染の取り組みについては、専門家からなる「広野町除染等に関する検証委員会」を設置し検証を行い、平成27年1月に中間答申がなされました。

その提言を踏まえ、平成27年8月から平成28年3月にかけて、放射線量の測定を行い、放射線量マップを作成しました。

対象は、一般家屋、公共施設、道路、農地、里山となっています。多くの場所では、0.23μSv/hを下回っています。測定エリアの辺縁部で一部高い線量が確認されます。これは、除染エリア以外の放射性物質の影響(寄与)と考えられます。

なお、五社山付近では、五社山管理道路、展望台、展望広場、駐車場およびトイレについては、平成28年6月末に除染を完了し現在測定中です。そのため、マップのデータは除染前のもので、線量が高くなっています。



広野町放射線量マップ

広野町全域を下記の範囲に分割し、範囲内の放射線量を1秒毎に測定した。測定した放射線量を範囲内で平均計算し、範囲毎の平均放射線量を算出した。

- 公共施設、一般家屋 …… 3m×3mの範囲
- 大型公共施設(小学校など) …… 5m×5mの範囲
- 上記以外(里山、農地、道路など) …… 10m×10mの範囲

測定高：1m
調査期間：平成27年8月～平成28年3月

五社山付近



上浅見川箒平地区

